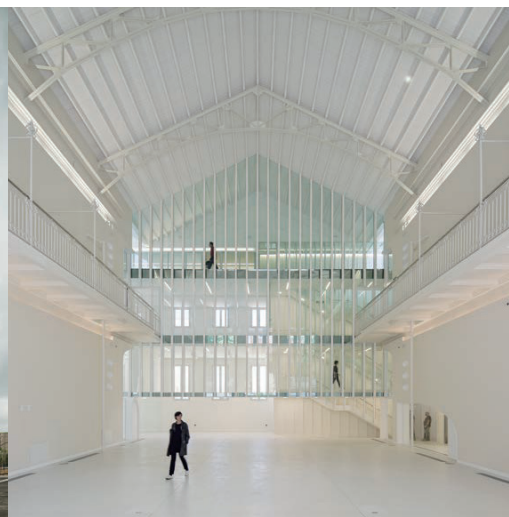




Catalan Institute of Economists HQ



Social Housing tower in Plaza Europa



Fire Safety and Prevention Center and Museum.



ミゲル・ロルダン Miguel Roldán



「一般性 ROLDÁN+BERENGUÉ の建築」

南ヨーロッパにおけるプライベートとパブリックについて話をするにあたり、スペインやバルセロナの伝統建築の例を説明しながら、主に私たちの3つのプロジェクト(ヨーロッパ広場のタワー、エコノミスト協会、消防博物館)を紹介します。また、新しいものと既存の関係、サイズとスケールの違いなどについても話をいたします。

略歴

1988年 ETSAB-UPC 卒業  
1998年より Barcelona Architecture Center, BACのディレクターを務め、アメリカやアジアより合計1800人以上の留学生を迎える。  
2012年よりバルセロナ市の都市計画マネジメントの監査委員を務める  
2000年よりクレムソン大学、テキサスA&M大学の教鞭をとり、また2015年よりペン州立大学でランドスケープを教える。  
また2015年より RIBAのメンバーとして公認される。  
1988年よりメルセ・ベレングエと Roldán+Berengué, arqts を共同設立。28年に渡りサステナビリティとデザインの融合を試みる。  
主に公共建築の設計を行い、ローコストでサステナブルな集合住宅、教育施設、公共施設、文化施設、また旧工場や歴史建造物の改築も含め、プロトタイプ的なスケールのもから都市スケールまでのプロジェクトに携わる。

バルセロナで活躍する2名の建築家による特別講演会

秋田公立美術大学・国際交流委員会主催

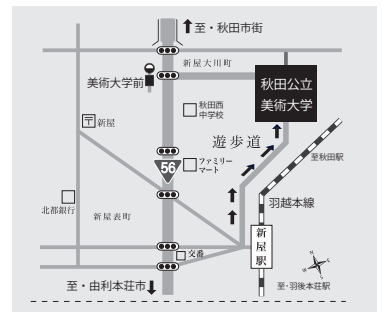
2016年10月11日(火) 17:30 ~ 19:00

会場：秋田公立美術大学 大講義室

(秋田市新屋大川町12番3号)

※一般参加可・参加無料・申込不要

お問い合わせ先：秋田公立美術大学 准教授 小杉栄次郎 kosugi@akibi.ac.jp



小埜芳秀 YOSHIHIDE KOBANAWA



「TIME and LANDSCAPE」

(時と風景)

リノベーションが当たり前とされるスペインでは、歴史をつながながらも未来をデザインすることが重要となってきます。それは同時に建物がその土地の風景を繋いでいくことにもなります。

RCR アーキテクトで経験、自身の KOBFUJI アーキテクトにおける作品を紹介しながら、特にスペインの地方における建築とランドスケープについてお話します。また、毎年3月に開催しています、Barcelona Architecture Center(BAC) バルセロナ建築留学コースの紹介も致します。

略歴

1972-栃木県益子町生まれ 1997 東京芸術大学美術学部建築学科卒業  
2001-カタルーニャ州立工科大学建築ランドスケープ科修士課程修了(スペイン政府給費留学奨学金)  
1999-2005 Arata Isozaki & Associates Spain (バルセロナ、スペイン)  
2005-2008 RCR Aranda Pigem Vilalta Arquitectes (オロト、スペイン)(文化庁新進芸術家海外留学制度)  
2008-展覧会企画・制作チーム"Anywhere Door"設立(バルセロナ、スペイン)  
2009-藤井香と共同で建築設計事務所"KOBFUJI Architects"設立(バルセロナ、スペイン)  
2012-Barcelona Architecture Center 講師(バルセロナ、スペイン)



Tokyo sushi



スマラガ郷土資料館